

第五十回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十七號

議事日程 第十七號 大正十四年三月二日	午前十時開議
第一 特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地 讓與等ニ關スル法律案(政府提出)	第一 議會ノ續(委員長)告
第二 外國人土地法案(政府提出)	第一 議會
第三 預金部預金法案(政府提出)	第一 読會
第四 大藏省預金部特別會計法案(政府提出)	第一 読會
第五 臨時國庫證券收入金特別會計法廢止 法律案(衆議院提出)	第一 読會
第六 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(衆議院提出)	第一 読會
第七 明治三十二年法律第七十號中改正 法律案(政府提出)	第一 読會
第八 明治四十一年法律第五十二號中改正 法律案(政府提出)	第一 読會
第九 明治四十四年法律第五十一號中改正 大正十年法律第二十五號中改正	第一 読會
第十 法律案(政府提出)	第一 読會
第十一 違警罪即決例中改正法律案(衆議院提出)	第一 読會
第十二 商業會議所法中改正法律案(衆議院提出)	第一 読會
第十三 龍田郵便局ニ集配事務開始ノ請願	第一 読會
第十四 木次三次間鐵道敷設ノ請願	第一 読會
第十五 民間航空事業開發ニ關スル請願	第一 読會
第十六 陸軍練兵場ヲ公開飛行場ト爲スノ請願	第一 読會
第十七 寒河江橋岡間鐵道敷設ノ請願	第一 読會

第十八 紀勢鐵道速成ノ請願(文書表第二十八號)	議會
第十九 陸軍廠舍建設ニ關スル請願	議會
第二十 紀勢鐵道速成ノ請願(文書表第三十七號)	議會
第二十一 屯田斥候騎兵ニ自馬手當支給ノ請願	議會
第二十二 水產增殖法制定ニ關スル請願	議會
第二十三 益田萩間鐵道速成ノ請願	議會
第二十四 島根縣那賀郡雲城村ニ郵便局設置ノ請願	議會
第二十五 志布志外ノ浦港間鐵道敷設ノ請願	議會
第二十六 大淀外ノ浦港間鐵道敷設ノ請願	議會
第二十七 德佐大井間鐵道敷設ノ請願	議會
第二十八 領石郵便局ニ電信事務開始ノ請願	議會
○議長(公爵徳川家達君) 去月二十五日藤麿王殿下貴族院令第二條ニ依リ議席ニ列セラレマシタニ付キマシテ、其席次ハ武彥王殿下ノ次席ト確定シ、部屬ヲ第一部ニ定メマシタ、是ヨリ報告ヲ致サセマス	議會
〔瀬古書記官朗讀〕	議會
去月二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ	議會
會計検査院法中改正法律案	議會
同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ	議會
一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法律案外一件特別委員會	議會
委員長 伯爵 松木 宗 隆君 副委員長 福原 錄一郎君	議會
朝鮮鐵道用品資金會計法案外一件特別委員會	議會
委員長 伯爵 酒井 忠 正君 副委員長 男爵 山根 武亮君	議會
遠洋漁業獎勵法中改正法律案特別委員會	議會
委員長 子爵 曾我 祐邦君 副委員長 服部 一三君	議會
去月二十四日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ	議會
裁判所構成法中改正法律案特別委員會	議會
委員長 伯爵 勸修寺 經雄君 副委員長 河村 讓三郎君	議會
米穀法中改正法律案外一件特別委員會	議會
委員長 荒井 實太郎君 副委員長 男爵 中島 久萬吉君	議會

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案
去月二十五日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

明治三十二年法律第七十號中改正法律案外三件特別委員會
委員長 侯爵 佐佐木 行忠君 副委員長 滝田 德則君

輸出組合法案外一件特別委員會
委員長 伯爵 川村 鐵太郎君 副委員長 藤田 四郎君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

預金部預金法案可決報告書

大藏省預金部特別會計法案可決報告書

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案可決報告書

遠洋漁業獎勵法中改正法律案可決報告書

請願文書表第六回報告書

同日決算委員分科會ニ於テ當選シタル正副主查ノ氏名左ノ如シ

第二分科

主查 金杉 英五郎君 副主查 男爵 周布 兼道君

去月二十六日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

違警罪即決例中改正法律案

商業會議所法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ同院ニ於テ可決シ奏上

セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

畜產組合法中改正法律案

去月二十七日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第二號

同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

外國人土地法案

去月二十八日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治三十二年法律第七十號中改正法律案可決報告書

明治四十一年法律第五十二號中改正法律案可決報告書

明治四十四年法律第五十一號中改正法律案可決報告書
大正十年法律第二十五號中改正法律案可決報告書

本日第九部ニ於テ請願委員寺田榮君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果子爵曾我祐邦君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、一言茲ニ諸君ニ御諮詢致シタイコトガゴザイマス、自今議案配付後ニ於ケル定規ノ日數ハ之ヲ短縮シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 大山公爵公務上會期中、瓜生男爵病氣ニ付キ會期中、大谷靖君病氣ニ付キ會期中、富永君病氣ニ付キ十四日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、何レモ許可イタスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス、日程第一、特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、早速大藏政務次官

特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月二十四日

衆議院議長 細谷 義三

貴族院議長公爵德川家達殿

〔「ハ衆議院ノ修正削除ノ符號ナリ〕

第一條 寺院若ハ佛堂ノ國有境内地又ハ寺院ノ管理スル國有墳墓地カ特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理ノ整理施行地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ其ノ寺院、佛堂又ハ墳墓カ大正十七年八月三十日迄ニ其ノ換地ニ非サル土地ニ移轉スルトキハ政府ハ國有財產法第五條ノ規定ニ拘ラス寺院境内地讓與審查會ノ議ヲ經テ其ノ換地及從前ノ土地ニ定

著スル國有物件ノ全部又ハ一部ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ讓與スルコトヲ得

寺院境内地讓與審查會ノ組織及權限ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 寺院又ハ佛堂カ前條ノ規定ニ依リテ讓與ヲ受ケタル土地ヲ讓渡シ、貸付シ又ハ擔保ニ供セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス許可ヲ受ケシテ之ヲ爲シタルトキハ其ノ效力ヲ生セス

第三條 特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス寺院若ハ佛

堂ノ境內地又ハ墳墓地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

第四條 特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理委員會ノ組織ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ國有財產法第二十四條ノ規定ニ依リテ國有地

ノ貸付ヲ受クル寺院及佛堂並國有又ハ公有ノ墳墓地ヲ管理スル寺院及佛堂ハ之ヲ借地法ニ謂フ借地權者ト看做ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 議題トナリマシタル特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境內地讓與等ニ關スル法律案ニ付テ大體ノ説明ヲ致シマス、帝都ニ於キマシテ特別都市計畫法ニ依リ、都市計畫整理ヲ施行イタシマスル結果、該施行地區内ニ在ル寺院佛堂境內地又ハ墳墓地ハ其換地ノ面積ガ狹小ニナル等ノ事情ニ依リマシテ、他ニ移轉スルノ已ムナキニ至ルヤウナ場合ガ少クナ

イノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、從來無償ニテ國有ノ境內地ヲ借受ケ又ハ墳墓地ノ管理ヲ致シテ居リマスル寺院佛堂ハ、其境內地等ノ換地ヲ政府ニ返還セネバナラヌコトトナリ、甚シキ損害ヲ受ケルコトトナリマシテ、延イテ其存立ヲ危カラシムル如キ結果ヲ來サナイトモ限ラナイノデアリマス、依テ其國有境內地又ハ墳墓地ノ換地等ヲ、當該寺院、又ハ佛堂ニ讓與イタシマシテ、是ガ救濟ヲ圖リタイト思ヒマス、又寺院境內地又ハ墳墓地ハ都市計畫法第十二條及耕地整理法第四十三條ニ依リマシテ、之ヲ都市計畫整理施行地區ニ編入イタシマスルニ付キマシテハ、當該寺院又ハ墳墓ノ關係人ノ同意ヲ必要ト致スノデアリマスガ、都市計畫整理ヲ遺憾ナク施行スルガ爲ニ、行政廳ニ於テ必要アリト認メマシタルトキニハ、是等ノ土地ヲ該施行地區ニ編入シ得ルノ途ヲ開キタイト考ヘマス、而シテ之ニ伴ヒマシテ、當

該寺院佛堂又ハ墳墓地ノ管理者ニ對シマシテ、都市計畫整理委員ノ選舉權、又ハ被選舉權ヲ附與スルノ必要ヲ認メルノデアリマス、而シテ衆議院ニ於キマシテハ、本案第一條中ノ一部ヲ修正イタサレマシタガ、趣旨ニ於キマシテハ、大ナル相違ノナイコトト認メマシタノデ、之ニ同意ヲ表シタル次第アリマス、本案ハ震災地ノ復興計畫ニ密接ナル關係ヲ有スルモノデアリマシテ、復興事業ノ促進上支障トナルベキモノヲ除キ、且ツ是ガ施行ヲ圓滿ナラシムハコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境內地讓與等ニ關スル法律案特別委員

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、外國人土地法案、政府提出、第一讀會、

小川司法大臣

外國人土地法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十四年二月二十七日

内閣總理大臣 子爵 加藤 高明
外務大臣 男爵 稲原 喜重郎
内務大臣 若槻 禮次郎
司法大臣 小川 平吉

外國人土地法

第一條 帝國臣民又ハ帝國法人ニ對シ土地ニ關スル權利ノ享有ニ付禁止ヲ爲シ又ハ條件若ハ制限ヲ附スル國ニ屬スル外國人又ハ外國法人ニ對シテ

行地圖ニ編入シ得ルノ途ヲ開キタイト考ヘマス、而シテ之ニ伴ヒマシテ、當

禁止ヲ爲シ又ハ同一若ハ類似ノ條件若ハ制限ヲ附スルコトヲ得

第二條 帝國法人又ハ外國法人ニシテ社員株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數カ前條ノ外國人又ハ外國人又

國法人ニ屬スルモノニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ其ノ外國人又ハ外國法人ト同一ノ國ニ屬スルモノト看做シ前條ノ規定ヲ適用ス

第三條 外國ノ一部ニシテ土地ニ關シ特別ノ立法權ヲ有スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ國ト看做ス

第四條 國防上必要ナル地區ニ於テハ勅令ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ土地ニ關スル權利ノ取得ニ付禁止ヲ爲シ又ハ條件若ハ制限ヲ附スルコトヲ得

前項ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第五條 帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數カ外國人又ハ外國法人ニ屬スルモノニ對シテハ前條ノ規定ヲ適用ス

第六條 土地ニ關スル權利ヲ有スル者カ本法ニ依リ其ノ權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テハ一年内ニ之ヲ讓渡スコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依ル權利ノ讓渡ナカリシ場合ニ於テ其ノ權利ノ處分ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
前二項ノ規定ハ土地ニ關スル權利ヲ有スル者ノ相續人其ノ他ノ包括承繼人カ本法ニ依リ其ノ權利ヲ取得スルコトヲ得サル場合ニ之ヲ準用ス但シ第一項ニ規定スル期間ハ之ヲ三年トス
第一項及前項ニ規定スル期間ハ通シテ三年ヲ超ユルコトヲ得ス

附 則

第七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 本法ノ施行ニ伴フ不動產登記法ニ關スル特例ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 明治六年第十八號布告及明治四十三年法律第五十一號ハ之ヲ廢止ス

第十條 明治三十二年法律第六十七號中「土地ノ抵當權者ナル外國人カ」ヲ「抵當權者カ抵當權ノ目的タル權利ヲ享有スルコトヲ得サル場合ニ於テ」ニ、「抵當不動產」ヲ「抵當權ノ目的タル權利」ニ改ム

第十一條 民法第九百九十條中「日本人ニ非サレハ享有スルコトヲ得サル權利ヲ有スル場合」ヲ「國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得ナルニ至リタル場合」ニ改メ「日本人ニ」ヲ削ル

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 外國人土地法案ノ提出ノ理由ヲ申上グマス、外國人ノ土地所有權ニ付キマシテハ、去ル明治四十三年ニ外國人土地所有權法ト申シマスル法律ガ出來マシテゴザイマス、然ルニ四十三年ノ法律制定當時ヨリ以後ニ實施ニナツテ居リマセヌノデ、從テ今日外國人ハ我國ニ於テ土地ヲ所有スル權利ヲ持タナイノデゴザイマス、然ルニ御承知ノ通リ今日マデマダ

於キマシテモ、我國ノ國運ハ益々進歩イタシマシタ、經濟上ヨリ見ルモ、社會上ヨリ見ルモ、今日ハ最早、外國人ニ土地所有ヲ許スモ何等ノ差支ガナナイモノト信ジマスノデゴザイマス、加之、今日マデ外國人ノ土地所有權ヲ許シテゴザイマセヌケレドモ、或ハ地上權或ハ永小作權等ノ如キ、所有權ト殆ド同ジャウナ權利ハ外國人ニ許サレテ居ルコトハ御承知ノ通り、而シテ地上權ノ如キ、其年限ノ無制限ニ長イノガアリマス、全ク所有權ト同ジャウナコトニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第アリマスルカラ、今日、外國人ニ土地所有權ヲ許シマシテモ、別段ノ差支ハナイト考ヘマス、依テ一般文明諸國ノ通例ニ則リマシテ、茲ニ外國人ニ土地ノ所有權ヲ許ス法律ヲ制定イタシタイト考ヘテ居ル次第アリマス、今日、外國人ニ土地ノ所有ヲ許サナイ結果ト致シマシテ、我ガ國民ガ外國ニ於テ土地ノ所有權ヲ得ムト欲スル場合ニ於キマシテモ、往々困難ヲ感ズル虞レガアルノデゴザイマス、故ニ今日ニ於テ此法律ヲ制定スルコトハ、最モ相當デアルト考ヘテ居リマス、而シテ此明治四十三年ノ土地ノ所有權法ニ於テハ、様シノ制限ガゴザイマシタ、即チ日本ニ於テ住所……住居ヲ持ツテ居ル所ノ外國人デナケレバ土地ノ所有ハ許サナイ、或ハ又法人ノ所有ノ場合ニハ内務大臣ノ認可ヲ要スル、又或ハ朝鮮、臺灣、樺太等デハ、所有ヲ許サヌ、様シノ制限ガアリマシタノデアリマスガ、今日ニ於テハ最早此制限ノ必要ハナイ、寧ロ之ヲ撤廢スル方ガ相當デアラウト考ヘマスノデ、即チ四十三年ノ土地所有權法ハ全般ニ亘ツテ之ヲ改正スルノ必要ヲ認メマシタカラシテ、之ニ代ル所ノ新ナル法律ヲ作リマシテ、四十三年ノ法律ハ之ヲ廢止シタイト云フノガ、即チ本案ノ提出ノ理由デゴザイマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○阪本鉄之助君 本案ト直接關係ハ無イカモ知レマセヌガ、唯今、司法大臣ガ外國人ニ永代小作權若クハ地上權ヲ與ヘテ居ル云々ト云フ御説明モゴザイマシタガ、蓋シ是ハ條約改正當時カラ非常ニ面倒ニナッテ居リマシタ外國人ノ永代借地權ノコトデアラウト存ジマスルガ、アノ永代借地權ト云フ問題ハ、トウ〜何トモ手ノ著ケラレヌモノニナッテ今日ニ至リマシテ、將來モノ最早何トモ致シ方ナイモノデアル、事實上ニ於テハ全ク所有權ト異ラザル所ノ扱ニナッテ居ル現狀デアリマセウカ、從テ此租稅問題デアリマス、此租稅ヲ納メルトカ納メヌトカ云フコトハ、ナカ〜面倒ナ問題ニナッテ居ッタ事柄デ、多少關係ヲ致シテ存ジテ居リマスガ、是ガ又現狀ハ如何ニナッスルカ、何等カ解決ヲ致シテ、租稅ノ方ハ土地所有者同様ノ賦課ヲ受ケルコトニナッテ居リマスカ、是亦相變ラズ、何カゴタ〜致シテ終結ヲ致シテ居ラヌノデアリマスカヲ一應御説明ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 唯今ノ御質問ニ御答へ申上グマス、先程、司法大臣ノ述ベラレマシタ地上權ノ問題ト前ノ開港場ニ於テ許シテ居リマスル永代借地ノ問題トハ全然別問題デアリマス、地上權ハ一般ノ民法ノ規定ニ依リマシテ、外國人ニモ有ラユル方面ニ於キマシテ、土地ヲ制限ハ無クテ、今日現ニ之ヲ許シテ居ルノデアリマス、永代借地ノ問題ハ元ノ開港場ニ限ル特殊ノ制度デゴザイマス、ソレデ是ハ從來カラ問題ニナッテ居リマス、未ダ其納稅ニ付テモ現ニ問題ニナッテ居ルコトハ御話ノ通ツデゴザイマス、此永代借地ノ問題ハ別ニ之ヲ解決スルノガ適當デアリマスノデ、其點ニ付テハ前カラ考究中デゴザイマス、唯今ソレニ付テ細カナ事ヲ申上ゲル程度ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、是ハ全然地上權ノ問題トハ別問題ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○阪本鉄之助君 地上權若クハ永代借地權ト云フモノガ開港場以外ニ存在シテ居リマスルト云フコトハ初メテ聽キマシテ實ハ驚イタノデアリマスガ、左様ナモノガアリマスレバ、一面ニ於テドウ云フヤウナ場合ニ、サウ云フコトヲサレテ居ルノデアリマスルカ、私ハ全く此開港場ニ存在シテ居ル永代借地權ノコトデアラウト思ヒマスルガ、是ハ別問題ダト仰シャル、サウスルト他場合デアリマセウカ、第一ニ御尋ネ申シマシタ開港場ノ永代借地權ノコトデ

アリマスルガ、考究中考究中ト云フコトハ最早數十年ニナルノデ、恐ラク考究ノ結果ヲ見ルコトガ出來ナイト云フ情況デナイカト考ヘマスガ、本議場ニ於テ明言ニナルノハ或ハ憚ルト云フノデアルカモ知レマセヌガ、餘リ考究中考究中ト云フ言葉モ適當シナイヤウニ思ヒマスガ、ドノ邊ノ現狀ノモノデアルカ、御差支ナクバ承リタイ、又租稅問題ト云フコトヲ御尋ネ申シタノデアリマスガ、之ニハ御答ガ無カッタノデアリマスガ、開港場ニ於テ永代借地權ヲ有ツテ居ッテ、之ニ對シテ府縣稅、市稅等ヲ課シテモ之ニ應ジナイ、國稅ノ方ハチヨット心得マセヌガ、現ニ府縣稅、市稅ノ如キハ之ニ應ジナイ、大變面倒ニナッテ居ルト云フコトヲ承知シテ居リマスガ、是ハ現狀ガ如何ニナッテ居ルノデアリマスルカ、チヨット斯ウ云フ御質問ナドヲ致スノハ事柄ガ違ツテ居リマスケレドモ、サウ云フヤウナ問題ハ宜シク解決ニナルノニハ誠ニ好個ノ機會デナイカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フモノハ先づ除ケテ置イテ、サウシテ此方針ニ於テ與ヘルト云フコトハ、或ハ其當ヲ得ヌデハナイカト云フコトヲ感ズルガ故ニ、御尋不スルノデアリマス、モウ少シ本員ノ御尋ニ適當スルヤウナ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 地上權ノ方ハ民法ノ規定ニ依リマシテ到ル處、日本ノ國內ニ於キマシテハ場所ノ制限ナク、之ヲ一般ニ許スト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、是ハ土地ノ賃借又ハ地上權ノ方ノ關係デゴザイマス、是ハ此方ハ外國人ニ對シテモ從來、日本國人ト同様ニ之ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、今御話ノ永代借地ノ問題ハ元ノ居留地ニアリマスル特殊ノ制度デゴザイマス、從來、外國人ノ居住ヲ唯居留地内ニ限リマシテ、其土地ニ於キマシテ、特ニ或一定ノ地代ヲ徵シマシテ、土地ノ使用ヲ許シテ居ル、ソレヲ條約改正ノ時ニ尙ホ從來ノ通リニ既得權ヲ認メマシテ、今日デモ其特殊ノ制度ガ残ツテ居ルノデアリマス、從テ其土地ニ付キマシテハ、租稅ノ問題ニ付キマシテモ、從來カラ問題ニナッテ居ルノデアリマス、所謂家屋稅問題、一時、海牙ノ仲裁裁判ニ付託致シテ仲裁判決ヲ得マシテ、日本ノ主張が其場合ニハ通ラナカッタノデアリマス、併シ尙ホ其問題ニ付キマシテモ、今日全部解決ト云フ段ニハ參ツテ居リマセヌ、從テ租稅國稅其他ニ付キマシテモ、日本デ認メル所ノ範圍、日本ノ方デ是ダケハ徵收シテモ差支ハナイト云フ其稅ノ範圍ト、外國人ガ主張シマス所ノ範圍トハ、必シモ一致イタシテ居リマ

セヌ、ソレデ其問題ニ付キマシテハ前ニモ解決ノ爲ニ色ゝ外國トモ話合ヲ致シタコトハアリマスケレドモ、マダ解決ヲ得ズシテ其儘中止ニナッテ居ルノ

デゴザイマス、最近ノ事柄ハ大正三年頃ニ其話ヲ致シマシタノデアリマス、併シ戰爭ノ結果ト致シマシテ、其話ヲ十分進メルコトガ出來ズシテ今日ハ其儘ニナッテ居ルノデアリマス、此永代借地ノ問題ハ別ニ唯今考究中デゴザイマス、適當ナル解決ヲ得ル爲ニ最モ都合ノ好イ手段ヲ執リタイ積リデアリマス、マダ此場合ニ於キマシテ進ンデ申上ゲルダケノ程度ニモ達シマセズ、又餘リ其方ハ得策デナイト思ヒマス、ドウカ其様ニ御承知ヲ願ヒマス

○阪本鉄之助君 犆ニ大藏次官ガ説明サレマシタ地上權、モウ一ツハドウ云フ言葉デアリマシカ、チヨット忘レマシタガ、永代小作權ト云フヤウナ御言葉デアッタ思ヒマスガ、此二ツニ付テ何カ實例デモ有ルナラバ一ツ御示シヲ願ヒタイ、居留地以外ニ地上權ガ與ヘテアルノガアリマスカ、モウ一ツノ永代小作權、御差支ガアリマセヌケレバ、或ハ東京府下ナリ神奈川縣ナリ其他デモ宜シイ、斯ウ云フ場合ニ斯ウ云フコトガシテアルノダト云フコトガ、御答ガ出來マスナラバ御答ガ願ヒタイ、モウ一ツハ唯今ノ居留地ノ永代借地權ノ問題ハ考究中デアル、今之ヲ明言シナイ方ガ適當デアラウト云フ御言葉デアリマスガ、是ハ非常ニ駆引ノアルコトデアリマスカラ、強ヒテ御尋ネスルコトハ餘リ氣ノ利イタコトデナイト考ヘマスカラ差控ヘマスガ、併シドウモ殘念ナコトデアリマス、マルデ租稅ハ快ク納メナイ、殆ド日本ノ領土内デアリナガラ日本ノ物デヤナイヤウナ形ニナル、左様ナコトガ永ク續クト云フコトハ、實ニ我ガ國家トシテ慨歎ニ堪ヘヌコトト思ヒマス、ドウカ成ルベク御改メアラムコトヲ希望シテ已ミマセヌガ、一ツ承ッテ置キタイ、永代借地權ニ付テ土地收用法ヲ實行シタト云フ實例ガアリマスカ、若シ有リマスナラバソレヲチョット承リタイ

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 地上權ヲ外國人ニ許シテ居リマスコトヲ一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、是ハ少シ古イ調ベデゴザイマスガ、大正九年ノ一月ノ調ベデゴザイマス、地上權ヲ許シテ之ヲ登記イタシテ居リマスルノガ一千七筆ニナッテ居リマス、ソレデ宅地ハ十六萬餘坪、宅地以外ガ百四十九町歩餘リデアリマス、ソレデ存續期間ハ定メノナイモノガ十八筆、百年未滿ノ期間ヲ附シテ居ルモノガ百六十四筆、百年以上ノガ八百二十五筆、斯ウ云フ風

ナ狀態ニナッテ居リマス

〔阪本鉄之助君「小作權ノ方ハ如何デスカ」ト述フ〕

ソレガ地上權トシテ登錄シテアルノデゴザイマス、ソレカラ永代借地ヲ土地收用法ニ依ヅテ收用シタ例ガアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、其例ハゴザイマセヌ、是ハ當時ノ約束ニ依リマシテ土地收用法ハ適用シナサイコトニナッテ居リマスカラ、ソレデ今マデサウ云フ例ハゴザイマセヌ

○阪本鉄之助君 甚ダ時間ヲ費シマシテ、恐縮デゴザイマスガ、ドウモ御尋ニ嵌リマセヌデスガ、大藏次官ハ地上權及永代小作權ト仰シヤッタト思ヒマスガ、永代小作權ニ付テノ御答ガアリマセヌガ、ソレハ大藏次官ノ仰シャル誤リデ、全ク地上權ヨリ外ニハ無イノデアリマスカ、有ルナラバ、永代小作權ハドウ云フ事デアルカ、唯今御示シニナリマシタ筆數ヤ段別ト云フヤウナコトハ私ハ餘リ承リタクナイノデアリマス、ドウ云フ場合デアルカ、例ヘバ西洋人ガ景勝ノ地ニ別莊ヲ造ルカラ、或ハ附屬ノ山林等ニ永代小作權ヲ與ヘルト云フヤウナ何カ實例ガアルダラウト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ場合ニ西洋人ニ……西洋人ト云フト語弊ガアリマスガ、外國人ニ御與ヘニナックカト云フ例ヲ、一二ノ例デ宜イカラ承リタイト思ヒマス、今御調ベガアリマセヌナラ後ニ譲リマシテモ宜シウゴザイマスガ、若シ斯ウ云フコトデアルト仰シャッテ下サレバ、私ノ心得ニナリマスガ、唯今ノ永代小作權ノ實例ニ付テモウ一應承ッテ見タイト思ヒマス

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 地上權ノ問題ハ唯今申上ゲマシタヤウニ、一般ニ與ヘマシタ例ガ澤山アルノデアリマス、ソレカラ永小作權ノ方ハ今調ベハ茲ニ持ツテ居リマセヌ、餘リ澤山ハ無イコトト思ヒマスケレドモ、一般ニ之ヲ禁ジテ居リマセヌノデス、永小作權ノ方ハ有リ得ル、又之ヲ今禁ジテ居ラナイ狀態デゴザイマスガ、唯調ベハ茲ニ持ツテ居リマセヌ、地上權ハ今申シマシタヤウナ筆數ニ依ヅテモ御承知ノヤウニ現ニ之ヲ許シテ居リマス、ソレダケデ大抵御答ヲ致シタ積リデアリマスガ……

○阪本鉄之助君 兔角、假設問題デ仰シャイマスガ、ドウ云フヤウナ場合ノコトデアルカ、地上權ヲ御許シニナッタノハ……唯今實例ヲ申シマシタ別莊デモ造ルカラ地上權ヲ設定シテクレ、附屬ノ地ニ道路ヲ造リタイカラ、或ハ牧場ヲ造リタイカラト云フノデ、ソレニ永代小作權ヲ與ヘタト云フヤウナ實例

ガアッタコトダラウカ、ドウ云フ事ヲヤッタノカ承リタイト思ヒマスケレドモ、再三申シマスケレドモ、御答ガアリマセヌ、蓋シ御調ベガナイコトト思ヒマス、他日特別委員會デモ十分御審議ニナルコトト思ヒマスカラ、其際デモ宜シウゴザイマス、先刻來、私ガ大藏次官、大藏次官ト申シマシタノハ甚ダ粗忽デゴザイマシテ、是ハ第一ノ日程ノ大藏次官ト司法大臣ト混合イタシマシテ甚ダ濟ミマセヌ、地上權、永代小作權ト仰シャイマシタノハ、大藏次官デナク、正ニ司法大臣デアリマス、是ダケ正誤イタシテ置キマス

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（小川平吉君）御答ヘ致シマスガ、地上權ノコトハ先刻政府委員ヨリ御答ヘ申上ゲマシタヤウナ次第デ、地上權ハ外國人ニハ禁ジテナインオデアリマス、所有權ハ禁ジテアリマスケレドモ、地上權ハ禁ジテナイ結果、外國人ト雖モ、自由ニ地上權ヲ有スルコトガ出來ルノデアリマス、ソコデ今日ドノ位、外國人ガ地上權ヲ有ツテ居リマスカト申シマスレバ、先刻政府委員ヨリ御答ヘ致シマシタ通り、宅地ニ於テ十六萬何坪ト云フダケガアルノデアリマス、宅地以外ニ於テ百何十町歩ト云フダケノモノデ、筆數ニ致シマスルト、千七筆ト云フダケガ外國人ガ有ツテ居ル、永小作權ニ付テハ、恐ラクハ外國人ニシテ小作人ニナツテ、小作權ヲ有ツテ居ル者ハアルマイ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、併ナガテ此ノ廣イ日本中ノコトデゴザイマスカラ、何處カニ少シアルカモ知レマセヌ、ソレハ唯今、政府ニ於テハ調ベラ持ツテ居ラスノデアリマス、多分西洋人デ小作ヲシテ居ル人ハ無カラウト心得テ居リマス、併シ法律デモ許シテ居リマスカラ、小作權ヲ得タケレバ自由ニ是ハ得ラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、右様ノ次第デアリマス

○阪本鉄之助君 モウ大抵止メマスケレドモ、私阪本、甚ダ耄碌イタシテ居リマシテ、司法大臣ト大藏次官ト間違ヘル位デゴザイマスカラ、或ハ妙ナコトヲ申上ゲルカモ知レマセヌガ、外國人ガ土地所有權ヲ有ツテ居ラヌ位ノコトハ心得テ居ル積リデアリマス、司法大臣ガ地上權、永代小作權云々ト云フ御説明ガアリマシタカラ、ソレヲ承ッテ居ルノデアリマス、一向、今ノ御説明ニ依リマスト、永代小作權ハ許シテ居ルガ、有ルカ無イカ分ラヌ、有ルカ無イカ分ラヌコトヲ強ヒテ御説明ニナルニハ及バナイダラウト思ヒマスガ、地上權ハ現ニ澤山アル、其地上權ハドウ云フヤウナ場合デアルカト云フコトヲ承リタイト云フコトヲ再三申シテ居リマスガ、ドウシテモソレハ御述べ

ニナラヌ、分ラヌナラ分ラヌト仰シャレバ、ソレマデノコトデゴザイマスガ、恐ラク御分リニナラヌコトト思ヒマスカラ、モウ私ノ質問ハ打切りマス○土方寧君 簡單デアリマスカラ、此席カラ質問ヲ致シマス、本問題トハ特別ノ關係ガ無イコトト思ヒマスガ、阪本君ノ御質問ニ對シテ政府委員ノ御答辯ガアリマシテ、ソレヲ拜聽イタシマシタ結果、チヨット簡單ニ御伺ヲ致シマス、居留地内ニ外國人ノ有ツテ居ル永代借地權ト云フモノハ頗ル厄介ナモノデ、日本ノ國法ガ及バヌ位ノモノデ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フコトハ、誰モ皆感ジテ居ルコトデアリマスガ、今ノ所デハ條約ノ解釋上、何トモシヤウガ無イコトニナツテ居ル、（聽取シ難シ）先刻御答ノ中ニ土地收用法ノ適用ガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、御答ノ如シトスレバ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、然ラバ復舊ニ伴フ區劃整理ニ付キマシテモ、永代借地權ノ方ニハ少シモ手ヲ觸レヌト云フコトニナツテ參リマスト困ルダラウト思ヒマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（若槻禮次郎君）横濱ニ於テ永代借地權ノアリマスル部分ハ區劃整理ヲ當初ハセナイ積リデアリマシタガ、併ナガラ關係者ガ矢張リ區劃整理ヲシテ貫ヒタイト云フ希望ヲ申出デタノデアリマスカラ、全部ノ人ガ區劃整理ヲスルコトニ同意ヲシマスルナラバ、スルト云フコトニナツテ居ラヌ、唯今ハ全部ノ者ノ同意ヲ求メツ、アル關係デアリマス、皆ガ其意思ヲ表示シマスレバ、區劃整理ヲ實行スルト云フコトニナツテ居リマス

○土方寧君 チヨット伺ヒマス、ソレナラバ、セヌ積リデナイ、出來ナイカラ相談スルト云フノデスカ

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（若槻禮次郎君）條約局長ガ御答ヘ致シマシタ通り、永代借地權ノ所ハ法律デ強制スル譯ニ行キマセヌ、ソレデアリマスカラ當初ハ致サヌ積リデアリマシタガ、併シ彼等ガ希望ヲ申出デレバ、都市ノ全體トシテ、矢張リ區劃整理ヲシタ方ガ宜イノデアリマスカラ、全部ガソレニ同意ヲスルナラバ區劃整理ヲスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス○議長（公爵德川家達君）本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

外國人土地法案特別委員

伯爵 寺島 誠一郎君 子爵酒井 忠亮君 大島 健一君
石原 健三君 水上 長次郎君 男爵船越 光之丞君

男爵長松 篤業君 赤池 濱君 齊藤 善八君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、預金部預金法案、第四、大藏省預金部特別會計法案、第五、臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、阪谷男爵

預金部預金法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十五日

右特別委員長 伯爵 柳澤保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

大藏省預金部特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十五日

右特別委員長 伯爵 柳澤保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十五日

右特別委員長 伯爵 柳澤保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 委員長柳澤伯爵ガ御缺席デゴザイマスカラ本員ヨリ御報告申上ダマス、唯今、日程ニ上ボリマシタ預金部預金法案外二件、之ニ付キマ

シテハ委員會ヲ二回開會イタシマシテ質問應答ノ結果、三案トモ原案可決ニ相成リマシタンデゴザイマス、此預金部ノ法案ハ至極、行政整理ノ結果、結構ナ法律デアリマス、度々貴族院ニ於キマシテハ、預金部ノ改正ニ付テ希

望ヲ述べ、其結果、政府ニ於テモ十分ニ考慮セラレテ本案ヲ御提出ニナッタト考ヘマス、デ、此法案ノ提出ニナリマシタ目的ハ既往ニ於テ甚シキ不整理ノアリマシタコトヲ整理イタシ、將來ニ於テ再ビ斯ノ如キ不整理ノ起ラヌヤウニスルト云フ目的デアリマスルノデゴザイマス、御承知ノ通リニ十五億ニ上ボツテ居ル國庫ノ預金デゴザイマスルデ、極メテ之ニ付テハ嚴重ナ取締ガ無クテハナラヌノデアリマス、ソレガ憲法制定以來、極メテ古イ法律デ取締テ居リマシタガ爲ニ、色々近來弊害ガ生ズルヤウニナリマシタ、委員會ニ於キマシテハ種々質問ガゴザイマシタ、第一ニハ郵便貯金ニ利子ヲ附スル、此利子ヲ定メルノガ遞信大臣限リデヤルト云フノハドウカ、大藏大臣モソレニ關係スペキデハナイカト云フヤウナ質問モゴザイマシタ、又此法律案デハマダ取締ガ不十分デハナイカト云フヤウナコトニ付テ質問モアリマシタ、又既往ノ不整理ハ成ルベク早ク整理スルト云フコトニシテ貴ヒタイ、ト云フ質問モアリマシタ、又遞信省ノ所管ニ屬シテ居ル簡易生命保険積立金ト云フモノハ、大藏省預金ト同ジャウナモノデアルガ、此度、預金部ノ法案ガ通過イタシテ、其監督機關ガ別ニ出來ルコトニナルト、同ジ預金ミタヤウナモノニ、遞信省ニモ監督機關ガアル、大藏省ニモ監督機關ガアルト云フヤウナ譯デ、是ハ甚ダ行政整理ノ趣意ニ適ハヌデハナイカ、寧ロ簡易生命保険積立金ノ方ヲ大藏省ノ預金部ニ合併シテ、大藏大臣ノ監督ノ下ニ此度出來ル諸問機關ニ於テ十分ニ監督シタ方ガ便利デハナイカト云フヤウナコトデ、色々議論ガゴザイマシタ、其結果ト致シマシテ、委員會ニ於キマシテハ、希望條件ヲ三箇條附スルコトニナリマシタ、尙ホ委員ノ一人……中ニハ、唯今諸問機關ニ委任シテ置ク定イタシマシタ、尙ホ委員ノ一人……中ニハ、唯今諸問機關ニ委任シテ置クバカリデハドウモ不安心デアルカラ、イッソ法文ヲモウ少シ嚴重ニ修正ヲ致シテ、此預金ノ運用ノ範圍ト云フモノヲ制限シタ方ガ宜カラウト云フ説ガ出マシタ、併ナガラ大藏大臣ニ於キマシテハ、此委員會ヲ設ケル以上ハ、委員會ノ意思ヲ尊重シテ再ビ弊害ニ陥ラヌヤウニスル譯デアルカラ、餘リニ窮屈ニ此法文ヲセラレルト實際運用上ニ困ルカラト云フ、段々御辯明ガアリマシタ、就中、其問題ノアリマシタノハ貸付ノ點デアリマシテ、貸付ト云フコト

ニ付テ今色ト弊害ガ起ツテ居ル、既ニ衆議院ニ於テ大藏大臣カラ参考トシテ示サレマシタ預金部ノ金ノ運用セラレテ居ル項目ト云フモノニ付テモ、御承知ノ通ソニ、貸付ト云フモノニ屬スル部分ニ甚ダ弊害ガ多イノデアリマス、ソコデ委員ノ一人ハ、元ニ貸付ト云フコトハ成程、廣イ意味ノ運用ノ文字ニ這入ルケレドモ、憲法デ以テ政府ノ歳入歳出ト云フモノハ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ル以上ハ、貸付ト云フモノハ自然其憲法ノ明條ノ結果、運用ト云フ文字ヲ制限スル譯デアラウ、故ニ此預金ノ運用ト云フ文句ノ中ニ貸付ト云フモノハ這入ラスト解釋スル方ガ適當デハナイカト云フ論ガアリマシタ、然ルニ政府ノ見解ニ依レバ、ドウモ矢張リ運用ト云フコトヲサウ窮屈ニ解セヌ方ガ至當デアラウト云フコトデ、此點ニ付キマシタハ委員ノ一人ノ意見ト政府ノ意見トガ一致イタシマセヌ、要スルニ此解釋ノ相違ト云フコトニナリマスル、併ナガラ委員ノ多數ハ既ニ監督機關ヲ設ケル以上ハ、其監督機關ノ人選ヲ……人物ノ銓衡ヲ慎ミ、其決議ヲ重ンズルト云フコトニスルナラバ、先ヅ其監督機關ヲ設置シタ以後ノ情況ヲ見テ、更ニ一步進ンデ、修正ノ必要アレバ、修正シタ方ガ宜カラウ、殊ニ本案ハ衆議院カラコチラニ廻ツタ案デアリマシテ、貴族院ガ修正スルナラバ、更ニ之ヲ衆議院ニ送ラナケレバナラヌト云フヤウナ譯デ、旁、希望ヲ附シテ政府ノ同意ヲ得テ、將來ニ弊害ノナイヤウニスレバ宜カラウト云フコトデ、或一員カラ出マシタ修正說ハ撤回スルコトニナリマシタノデス、ソコデ其希望條件ヲ申上ゲマスルト、第一「政府ハ現在預金部運用金中整理ヲ要スルモノハ成ルヘク速カニ之ヲ了セラレタシ」、今預金部ノ運用金中ニ不整理ト認ムルモノガアル、此整理ヲ成ルベク早ク政府ニ於テシテ貰ヒタイト云フノガ、第一ノ希望決議デゴザイマス、ソレカラ第二ノ希望決議ハ「簡易生命保険積立金ハ之ヲ預金部ニ預入レ預金部ニ於テ運用スルコトニ法規ヲ整理改正シ取扱ヲ簡易明確ナラシメラレタシ」、是ガ今ノ簡易生命保険積立金ヲ預金部ノ方ニ矢張リ合併シタ方ガ宜イト云フ希望デゴザイマス、之ニ對シテハ政府ニ於テハ尙ホ能ク協議シテ、是ハ遞信省ノ管理ニ屬スルコトデアルカラ協議シテ成ルベク希望ニ副フヤウニシヤウト云フ政府ノ答デアリマシタ、第一ノ整理ヲ速カニスルト云フコトニ付テハ、無論全然同意デアル、十分ニ整理ヲ急グコトニスルト云フ政府ノ答デアリマス、ソレカラ第三「預金部資金運用委員會ノ權限ハ之ヲ鞏固ニシ委員ノ人物銓衡ハ官民中有力者ヲ得ルコトノ趣旨ヲ以テ其規定ヲ設ケラ

レタシ」、即チ此度出來マス預金部ノ運用ヲ監督スル所ノ諮問機關、其權限ヲ成ルベク鞏固ニシ、其人物ノ銓衡ト云フコトモ十分ニ大切ニサレタイ、此事ニ付キマシテモ、大藏大臣ハ勿論其希望ニ副フコトニ異存ノナイト云フコトノ言明デアリマシタノデ、ソレ故ニ三ツノ希望條件ハ委員會ハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタ譯デアリマス、ソレカラ尙ホ委員ノ一人ヨリシテ斯ウ云フ希望ガ出マシタノデ、郵便貯金ノ利子割合ハ從來餘リニ固定シタル嫌アリ、將來金融ノ情勢、金利ノ趨向ニ願應セシムルコトニ注意セラレタイ、從來ノ郵便貯金ノ利子ガ餘リニ固定シ過ギテ居ルヤウデアル、將來ハ其金利ノ趨勢ニ應ズルヤウニ注意シテクレト云フ希望デアリマス、此希望ハ唯委員長マデ申述ベルト云フコトデ、別ニ決ハ採リマセヌデゴザイマシタ、要スルニ前申シマスル通り三案トモ異議ナク可決イタシマシタノデ……此アトノ特別會計法、ソレカラ臨時國庫證券特別會計法廢止案、是ハ別ニ申上ゲルコトハゴザイマセヌデ、三案トモ全會一致可決イタシマシタ譯デアリマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、副委員長阪谷男爵ノ報告セラレマシタ三案トモ一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、藤本閑作君

〔藤本閑作君演壇ニ登ル〕

○藤本閑作君 本員ハ此機會ニ於キマシテ、大藏當局へ御尋不致サムト致シマスルノハ、郵便貯金利子引上ノコトデアリマス、唯今委員長カラ報告ニナリマシタ通リ、此法案ノ委員ノ御一人カラモ矢張リ此貯金利子ノコトニ付テノ御希望ガアリ、又衆議院ニ於テハ一一ノ議員ノ方ニカラ、此引上ノコトニ付テノ希望的質問ガアッタノデアリマス、此衆議院ニ於ケル大藏大臣ノ御答辯デハ利子ノ引上ハサウ云フ考ハ持シテ居ラヌ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、其御趣旨ヲ伺ヒマスルノニ、利子ヲ引上ゲルト、預金部ノ資金ヲ國家公共ノ利益ノ爲ニ、十分ニ利用スルト云フ目的ト相反スルノデアル、又政府ガ預カル所ノ利子ヲ引上ゲルトスレバ、其反面ニハ預金部カラ融通スル低利資金ノ貸出利子ヲ引上ゲザルヲ得ナイ、ソレ故、利子引上ハ國家公共ノ利益ニ

合致セナイカラ引上ゲナイ方ガ得策デアル、斯ウ云フ御議論ノヤウニ拜承スルノデアリマスル、成程、一應御尤ナ御考カハ知リマセヌガ、本員ハ其御考直シヲ切ニ希望イタシマシテ、唯今茲ニ質問ヲ致スノデアリマスル、年來、預金部ノ内容ガ疑ハシイカラ速ニ預金部制度ノ確立ヲ致サレネバナラヌト云フ議論ハ數次繰返サレテ來タノデアリマスル、此度、現内閣ノ成立ニ依リマシテ、其斷案ニ依ツテ本法案ガ提出ヲ致サレ、多年國民ガ伏魔殿トシテ注視イタシテ居リマシタ此預金部ノ内容モ、本議會ヲ通ジマシテ公開イタサレ、國民ハ其概要ヲ知ルコトヲ得マシタノハ、旁近來ニ無イ所ノ喜ビトスル所デアリマス、本員ハ此喜ビヲ今一步進メルベク、此機會ニ於キマシテ、此郵便貯金ノ利子ノ引上ヲ考慮シテ戴イテ、幸ニモ近キ將來ニ實現イタシマシタナラバ、國民ハ真ノ喜ビヲ叫ブデアラウト思ヒマス、申ス迄モナク預金部資金ノ總高ハ殆ド十六億圓近クデアリマス、其中ノ十一億七千七百萬圓餘ハ郵便貯金デアリマス、此時金ノ源泉ハ國民中ノ最大多數デアリマスル所ノ庶民階級ノ人達ガ汗ト膏デ搾リ出シマシタ誠ニ貴イ所ノ、零碎ナ金ノ塊リデアリマス、塊リガ出テ來マス其源ヲ詮索ヲ致シ、其實際ノ情況ヲ不斷ニ注意ヲ致シ、且ツ日々實地ニ其有様ヲ見聞イタシマスルナレバ、慘メナト申シテ宜イノカ、憐レナト申シテ宜イノカ、又貴イト申シテ宜イノカ、實ニ悲喜劇ノ事件ハ筆舌ノ能クスル所デハアリマセヌ、庶民階級ト、然ラザル階級ノ生活ノ實況ヲ比較イタシマシテ、心ノ底カラ真ノ同情ヲ起シマシテ、郵便貯金ノ利子引上ト云フコトニ注目ヲスル爲政家ノ少イノハ、本員ノ頗ル怪訝ニ堪ヘナイ所デアリマス、貧シキ者ガ持ツテ居ル所ノ資本ガ零碎デアルカラ、安利デ國家ニ提供セヨ、サウスレバ國家ハ安利デ公共事業ニ利用シテヤル、利ガ高クテハ國家公共ノ利益ニ合致セヌ、富者ノ持ツテ居ル所ノ資本ハ高利ニ運用ガ出來マスルヤウニ、國家ノ保護監督ノ下ニ立派ナ機關ガ澤山ニ備ハッテ居ルノデア

ルカラ、ソレヲ利用シテ益個人ノ富ヲ圖リ其生活ヲ向上セヨ、斯様ニ言フガ如クニ庶民階級ヲシテ默從ノ已ムナカラシムル如キハ、果シテ是ガ合理的デアリマセウカ、正義デアリマセウカ、政府ハ一面ニ社會政策ニハ相當ノ費用ヲ使ヒ、思想ノ善導ニハ常ニ考慮ヲ重ネツ、アリマス、又勤儉貯蓄ヲバ常ニ獎勵ヲ致サレテ居リマス、彼ヲ思ヒ此ヲ思ヒマスルナレバ、此利子引上ヲ爲サヌト云フコトハ、果シテ國家ノ政策ニ合致スルノデアリマセウカ、況ヤ十
年以來、釘付ケノ如クデアル現在ノ郵便貯金ノ利率ハ、世上一般ノ總ラノ事
物ニ比例イタシマシテ、毫モ不權衡デハナイト言ハレルノデアリマセウカ、而シテ富者ノ持ツテ居リマスル資本ハ、如何ニ高利ニ利用セラレテ居ルカ、此事ヲ考ヘマシタナラバ、申ス迄モナク公債ノ利廻ハ六分八厘、各種ノ社債ガ八分以上、銀行ノ定期ハ六分五厘デアリマス、何レモ政府ノ保護監督ノ下デアリマス、又此預金部カラ貸出シテ居ル所ノ資金ノ行先キハ、何レモ大資本家ト見ルベキモノガ大部分デアリマス、無論、現政府ノ責任デハアリマセヌガ、其内容モ、貸付當時カラ、隨分ト如何ハシイコトハ豫知セラレテ居ツタノデアリマス、今試ニ其ノ中ノ一ツデアリマスル朝鮮銀行ヘハ、多額ノ不良マス、本員ハ此喜ビヲ今一步進メルベク、此機會ニ於キマシテ、此郵便貯金ノ利子ノ引上ヲ考慮シテ戴イテ、幸ニモ近キ將來ニ實現イタシマシタナラバ、國民ハ真ノ喜ビヲ叫ブデアラウト思ヒマス、申ス迄モナク預金部資金ノ總高ハ殆ド十六億圓近クデアリマス、其中ノ十一億七千七百萬圓餘ハ郵便貯金デアリマス、此時金ノ源泉ハ國民中ノ最大多數デアリマスル所ノ庶民階級ノ人達ガ汗ト膏デ搾リ出シマシタ誠ニ貴イ所ノ、零碎ナ金ノ塊リデアリマス、塊リガ出テ來マス其源ヲ詮索ヲ致シ、其實際ノ情況ヲ不斷ニ注意ヲ致シ、且ツ日々實地ニ其有様ヲ見聞イタシマスルナレバ、慘メナト申シテ宜イノカ、憐レナト申シテ宜イノカ、又貴イト申シテ宜イノカ、實ニ悲喜劇ノ事件ハ筆舌ノ能クスル所デハアリマセヌ、庶民階級ト、然ラザル階級ノ生活ノ實況ヲ比較イタシマシテ、心ノ底カラ真ノ同情ヲ起シマシテ、郵便貯金ノ利子引上ト云フコトニ注目ヲスル爲政家ノ少イノハ、本員ノ頗ル怪訝ニ堪ヘナイ所デアリマス、貧シキ者ガ持ツテ居ル所ノ資本ガ零碎デアルカラ、安利デ國家ニ提供セヨ、サウスレバ國家ハ安利デ公共事業ニ利用シテヤル、利ガ高クテハ國家公共ノ利益ニ合致セヌ、富者ノ持ツテ居ル所ノ資本ハ高利ニ運用ガ出來マスルヤウニ、國家ノ保護監督ノ下ニ立派ナ機關ガ澤山ニ備ハッテ居ルノデア

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、郵便貯金ノ利子引上ノ問題ニ付キマシテハ、唯今、藤本君ハ私ガ衆議院ニ於テ一議員ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマシタ其速記録ノ概要ヲ御述ベニナリマシタガ、尙ホ當院ニ於キマシテモ此法案ガ初メテ上程サレマシタ時ニ、菅原通敬君ノ御質問ニ對シマシテ、詳細ニ政府ノ所見ヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、唯今ノ藤本君ノ熱心ナル御質問ニ對シマシテハ、菅原君ノ御質問ニ對スル御答ヲ以テ其答辯ト致ス外ハナイノデアリマスガ、其要點ヲ繰返シテ申上ゲマストスレバ、

今日、政府ニ於テ郵便貯金ノ引上ヲスルト云フ考ヲ有ツテ居ナイコトニ付テ、三ツノ理由ガ有ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其第一ハ申ス迄モナク、郵便貯金ハ安全確實ヲ第一義トスルモノデアル、其利率ガ幾ラカ高イ、幾ラカ廉イト云フ事ハ必シモ郵便貯金其モノノ本義デハナイ、從テ其貯金ノ利率ガ大イニ上レバ免ニ角デアリマスケレドモ、極メテ僅少ノ程度ニ於テ或ハ引上グラレ、或ハ引下グラル、ト云フ事ガ有リマシテモ、是ガ爲ニ必シモ郵便貯金ノ總高ニ於テ大ナル増減ハナイデアラウト思ッテ居リマス、斯ノ如ク郵便貯金ハ其第一義ト致シマシテ安全確實ヲ貴ブモノデアリマスルガ故ニ、必シモ金融界ニ起ツテ參リマス所ノ日々ノ變遷、或ハ年々ノ變化ニ伴ッテ、其利率ヲ上下シナクトモ宜シイモノデアラウ、併ナガラ大局カラ申シマスレバ、其利率ノ定メ方ニ至リマシテモ、必シモ金融界ノ大勢ト全然沒交渉ト云フ譯ニハ參ルマイト思ヒマス、然ラバ近時ニ於テ郵便貯金ノ利子ヲ何ト致シテモ現狀ノ儘ニ据置クコトハ出來ナイ、之ヲ引上ダケレバナラスト云フ金融界ノ大勢ガ何處カニ動イテ居ルカト云フコトヲ吟味イタシマスルト、私共ハ左様ナル大勢ガ動イテ居ルト云フコトヲ認ムル譯ニハ參リマセヌ、今日、國內ノ金融界ノ大勢、金利ノ趨勢カラ申シマスレバ、ドチラカト申セバ、或ハ多少金融ハ緩漫ニナル、金利ハ低廉ニ赴クト云フ趨勢ヲ認メ得ラレル位デアリマシテ、其反對ニ大體ニ於テ金利ガ騰貴スルト云フ如キ趨勢ヲ認ムルコトガ出來ナイト思ヒマス、果シテ然ラバ、斯ノ如キ情勢ノ下ニ於テ、大正四年以來、四分八厘ニ据置カレテ居リマシタ所ノ現在ノ郵便貯金ノ利子ヲ、此金融界ノ大勢ニ寧ロ逆行イタシマシテ、之ヲ引上グルト云フコトハ、果シテ時宜ニ適シタモノデアルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、大ナル疑問ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、是ガ第一ノ理由トシテ先日申上ゲタ所デアリマス、第二ノ理由ハ、確カ昨年ノ七月ノ特別議會デ同ジク藤本君カラ此質問ガアリマシテ、之ニ御答ヲ申上ゲタ所デアリマスガ、即チ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フコトノ決斷ヲスルニ付テハ、少クトモ貯蓄銀行ノ利子トノ見合ヲ取ラナケレバナラヌ、若シ其見合ヲ取ラズニ郵便貯金ノ利子ダケヲ引上ゲマスト云フト、ソレガ貯蓄銀行ノ利子ヲ引上グル動機トモ或ハ相成ッテ、其結果トシテ獨リ貯蓄銀行ニ止リマセヌ、一般ノ銀行ノ預金ノ利率ヲ引上グル動機ニナル傾ガ無トイモ斷言ガ出來マセヌ、其點ニ付テモ、是ハ慎重ナル考慮ヲ要スル事柄デアリマス、是ガ理由ノ第二デアッタノデアリマス、第三ノ理由

ハ唯今、藤本君ガ御述ベニナリマシタ、私ガ先日衆議院ニ於テ議員ノ質問ニ對シテ答ヘマシタ、即チ低利資金ノ問題デアリマス、郵便貯金ノ運用ハ御承知ノ通り、主トシテ地方ノ低利資金ニ廻ハッテ居リマス、即チ今日ノ郵便貯金ハ其源泉ハ無論全國ニアリマスケレドモ、主トシテ地方ノ農村ニアリト言ハナケレバナラヌ、是ハ統計上カラ申シマシテモ、農民ノ貯蓄ガ郵便貯金ノ總高ノ大ナル部分ヲ占メテ居リマス、從テ此預金部ノ資金ノ運用ト致シマシテ、我我ガ最モ注意ヲシナケレバナラヌ事柄ハ、此全國ノ農村カラ集マリマシタル郵便貯金ヲ、出來ルダケノ低利ヲ以テ之ヲ農村ニ還元ヲ致シ、之ニ依ツテ農村ノ振興ヲ圖リ、地方産業ノ振興ヲ圖ルト云フコトニ注意ヲシナケレバナラヌ事柄デアリマス、ソレ故ニ若シ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲマスルト云フト、其預金部ノ資金ノ運用トシテ地方ノ産業ノ振興ニ向ツテ運用サルベキ所ノ低利資金ノ利子ヲ上ダケレバナラヌト云フコトニ、是ハ當然ナルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、地方ノ農村ニ於キマシテハ利子ノ引上ニ依ツテ得タル所ノ利益ヲ、低利資金ノ利子引上ニ依ツテ同時ニ失フト云フコトニ相成ル、ソノ利害得失果シテ如何ト云フ事モ篤ト考慮スベキ問題デアラウト思ヒマス、是ガ今日政府ニ於テ郵便貯金利子引上ノ考ヲ有ツテ居リマセヌ所ノ第三ノ理由デアリマス、以上三箇ノ理由ニ基イテ、今日ニ於テ政府ハ郵便貯金利子引上ヲ行フト云フ考ハ有ツテ居リマセヌ、唯今、藤本君ノ御説ヲ伺ヒマスレバ、庶民階級ノ持ツテ居ル所ノ金ハ郵便貯金トナツテ、ソレガ運用ヲサレル、其利率ハ極メテ廉イ、即チ四分八厘デアル、之ニ反シテ資本階級或ハ有產階級ノ持ツテ居ル所ノ資本ハ比較的高利ニ運用ラサル、是ハ社會政策上カラ申シテモ、篤ト考慮スベキ事柄デハナイカト云フ御意見デアッタヤウデアリマスルガ、私ノ考ヘテ居ル所ニ依リマヌレバ、庶民階級ノ持ツテ居ル所ノ資本、即チ其貯蓄デアリマシテモ、必シモ郵便貯金ニ持ツテ行カナケレバナラヌ、貯蓄銀行ニ預ケテ相成ラヌ、普通ノ銀行ニ預ケテハ相成ラヌト云フモノデハアリマセヌ、ソレハ貯金ヲスル人ノ自由選擇デアリマス、從テ郵便貯金ノ利子ガ廉イカライケナイト云フコトデアルナラバ、其人ハ須ラク普通ノ銀行ニ預ケテモ宜シイ、或ハ貯蓄銀行ニ預ケル上ニ於テ何等制限ハ無イノデアリマス、又御承知ノ通り郵便局ニ預ケマシテ、サウシテ其預金者ノ希望ニ依ツテ公債證書ヲ買ヒタイト云フコトデアルナラバ、郵便局ハ喜ンデ其買入ノ手數ヲ取ルノデアリマス、現ニ今日ニ於キマシテモ、郵便局ニ預ケテ

居リマス所ノ郵便貯金ヲ以テ、其預金者ノ希望ニ依ッテ公債ヲ買入レテヤル高ハ相當ノ高ニ上ボッテ居ルデアラウト思ヒマス、今日、此席ニ於テ其統計ハ持ツテ居リマセヌケレドモ、相當ノ額ニ上ボッテ居ルト考ヘテ居リマス、斯ノ如キ理由ニ依リマシテ、今日ノ所、郵便貯金ノ利子ノ引上ヲ行フト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、併ナガラ前ニモ申シマシタ通り、郵便貯金ノ利子ハ、必シモ何處マデモ釘付ニ參ルベキモノデハアリマセヌカラ、ノミナラズ唯今藤本君ノ熱心ナル希望的ノ御質問モアリマシタカラ、尙ホ將來ニ瓦ッテ政府ハ篤ト考慮ハ致シマスルガ、目下ノ所、左様ナ考ハ有ッテ居リマセヌト云フコトヲ御答ヲ申シテ置キマス

○藤本閑作君 唯今ノ御答辯ニ依リマシテ、大臣ノ御趣旨ノ在ル所ハ承知イタシマシタガ、就中、庶民階級ノ有ッテ居ル所ノ金ハ強チ郵便貯金ニ預ケルニ限ッタコトハナイ、自分ノ自由裁量ニ任セルト云フ御趣旨デアリマシタガ、此事ニ付テハ、私トハ大分距タリガアルコトト思ヒマスガ、是ハ申シマセヌ、御話ノ御一節ノ中ニ預金部ノ金ヲ地方ノ公共事業ニ融通ヲスル、其利子ハ成ルベク安クシテ便宜ヲ圖ルヤウニ致シタイ、斯ウ仰セラレマスコトハ、洵ニ御尤ナコトデ國民ハ希望シテ居リマスルガ、現在ノ預金部資金カラ此地方ノ公共的事業ニ御融通ニナッテ居ル所ノ金額ハ、私ノ承知イタシマス所デハ、其金額ガ甚ダ少イト云フコトヲ遺憾ニ思シテ居ルノデアリマス、將來ハ藏相ノ御言明ニ依ヅテ地方ノ開發ニ要スル所ノ資金ハ相成ルベク十分ナ御融通ガシテ戴カレルコトトハ信ジテ居リマスルガ、從前既ニ貸出シヲシテアリマスル所ノ、其内容カラ考ヘマスルト云フト、急ニ預金部ノ方へ多クノ資金ノ回収ハ出來兼ネルカノヤウニ私ハ思フノデアリマス、此事ニ付テハ無論、藏相ノ御言明ガアリマシタカラ、此回収ニ付テハ無論御努メニナルコトト思フノデアリマスルガ、唯今、御答辯ノ全體ヲ綜合イタシテ考ヘマスルト云フト、現在ハ地方ヘ融通ヲ付ケテ戴イテ居ル金ハ、十六億ニ垂ントシテ居ル所ノ資金ノ二割乃至三割マデニハ逆モイカヌト思フノデ、ソレデ、其餘ハ皆地主へ直接ニ役ニ立ツ所ノ資金トハナツテ居ラヌノデアリマス、ドウズ此點ニ付テハ申ス迄モナク、十分ニ御配慮アラムコトヲ希望シテ已マヌノデアリマス、尙ホ貯金ノ利子引上ト云フ全體ニ付テハ、私モ今ノ御辯明ヲ以テ十分ニ納得ハ致シ兼ネルノデアリマスガ、ソレハ他日ノ機會ニ譲リマシテ、茲デハ唯私ノ希望ダケヲ申上ゲテ質問ヲ終ルノデアリマス

○馬場鍛一君 私モ簡單ニ政府ニ質問ヲ致シタインデアリマス、唯今、阪谷男爵ノ御報告ニ依リマスルト、預金部預金法案ニ對スル希望條件ガニツアル、其第二トシテ簡易生命保険ノ積立金モ預金部ニ預入レテ、預金部ノ運用ニ委セルト云フコトニ付テ希望ガアツテ、政府モ之ニ同意ヲセラレタヤウニ拜聽イタシタノデアリマスガ、簡易生命保険積立金ノ運用ハ、簡易生命保険事業ヲ管理セラレテ居ル所ノ遞信大臣ガ責任ヲ以テ管理セラレルコトデナケレバ、簡易生命保険事業ノ確立ヲ期スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、加之、此積立金ノ運用ニ關シテハ、貴衆兩院ニ於テ簡易生命保険法ヲ通過イタシマスル場合ニ、此運用金ノ……積立金ノ運用ニ付テハ、遞信大臣管理ノ下ニ委員會ヲ設ケ、社會政策的ニ之ヲ運用スル、斯ウ云フ御意見ヲ附ケラレテ本院ヲ……貴衆兩院ヲ通過シテ居ルヤウナ次第デアルノデアリマス、無論又或說ニハ低利ニ社會ニ政策的ニ運用スルコトヲ止シテ、或ル程度マデハ利息ヲ高ク運用シ、以テ簡易生命保険ノ保険料金ヲ低廉ナラシムルノモ一ツノ方法デアルト云フ論モアルノデアリマス、何レニ致シマシテモ此積立金ヲ單ナル郵便貯金ノ手段ト同ジャウニ、預金部ニ預入レテ大藏大臣ノ管理下ニ運用スルト云フコトハ、簡易生命保険事業ノ確立ヲ危ウスルモノトスラ私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ガ御同意ニナッテ居ルト云フコトハ、私ノ合點行カザル節デアリマスカラ、之ヲ政府ニ質問イタシマス

〔政府委員植原悅二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(植原悅二郎君) 唯今、馬場サンカラノ御意見ニ對シテ、簡易保險ノ問題ハ遞信省所管ニ屬スルコトナルガ故ニ、此場合ニ一應所管省ノ立場トシテ辯明イタシテ置キタイト思ヒマス、チヨット考ヘマスルト云フト、簡易保險局ノ積立金モ郵便貯金ノ金モ、金デアルカラ、同一ノ預金部ノ運用ニシタ方ガ宜シヤウニモ考ヘラレナイデハゴザイマセヌケレドモ、此問題ハ御承知ノ如ク、簡易保險事業其モノニ關係イタシテ居ルコトデ、簡易保險事業トシテ簡易保險ノ積立金トハ、性質ノ上カラ申シマシテ、極ク強イ言葉ヲ申シテ申上ダマスレバ、不可分的ナモノデアルト申上ゲテモ宜カラウト思フ、デ、簡易保險ノ積立金ト云フモノハ斯ウ云フ性質ノ金デゴザイマシテ、簡易保險ノ事業費ノ一部ヲ加入者ノ掛金カラ除キ、ソレカラ保險金トシテ支拂フベキモノヲ除キマシテ、殘餘ノ金ヲ積立金トシテ積立テ、居ル、而シテ此積立金ハ、廳テ被保險者ニ支拂ハナケレバナラナイ金デアリマスルガ故ニ、努メテ

之ヲ確實ニ、而モ有利ニ運用スルコトヲ考慮イタサナケレバナラナイ、モウ一
ツ簡易保険ノ問題ハ、第三十七ノ帝國議會デアルト記憶イタシテ居リマス
ガ、此簡易保険法ノ定マル時ニ、是ハ社會事業デアル故ニ、此簡易保険ノ積立
金ノ運用ニ付テハ、此保險事業ノ性質ヲ能ク了解シテ、社會事業ヲ加味シタ
ヤウニ、之ヲ運用シナケレバナラナイト云フコトハ、最モ強ク貴族院ニ於テ
御意見トシテ現ハレテ居ルノデアリマス、ト云フコトハ、此金ハ成ルベク加
入者ニ直接トモ參ルマイガ、間接デアツテモ直接デアツテモ、成ルベク加入者
ニ有利ナヤウニ之ヲ運用スル、從テ今日マデノ簡易保険ノ積立金ハ加入者ノ
數、其地方ノ情況等ヲ考慮イタシマシテ、努メテ間接若クハ直接ニ加入者ガ
居ル所ノ主ナル項目ヲ申シマスルナラバ、自作農創立、或ハ簡易ノ住宅建
設、又必需品ノ購買販賣ニ對スル所ノ資金ノ如キ、公共ノ浴場ノ如キ、地方
ニ於キマスル所ノ小學校建設資金ノ如キ、斯様ナモノデ努メテ加入者ガ直接
ノ利益ヲ受ケルヤウナ方面ニ運用サレテ、之ヲ簡單ニ申セバ加入者ノ掛ケタ
金ガ其地方ニ還元スルト云フコトヲ原則ト致シテ運用イタシテ居ルノデアリ
マス、而シテ誠ニ多ク……澤山ノロデアリマシテ、其貸付ハ小額デアリマ
ガ如キ小口デゴザイマシテ、此運用ヲ大藏省ノ預金部ノ運用ノ如クニ爲シ
得ラレルカ得ラレナイカト云フコトモ、甚ダ疑問デアルト思ヒマス、之ヲ
スレバ却テ不便デアルノミナラズ、御承知ノ如ク郵便貯金ヲ致ス者ハ其預
金ハ政府ニ信賴シテ確實ニ之ヲ運用シテ下サイ、斯様ナ意味ニ依ッテ出テ居
ルモノ、保険ノ加入ハ全クソレト性質ガ違ヒマシテ、將來ヲ見越シテ、或危
險ノ場合、病死シタ時ニ、其掛金ヨリハヨリ多ク金ヲ得ラレル、一ツノ「リ
スク」ヲ見越シテ掛け居ル金デ、性質ハ根本的カラ達フノデアリマスル故
ニ、之ヲ運用スルコトニ付キマシテモ、餘程考慮イタサナケレバナラヌ、加
之、加入者カラ申シマスレバ、其加入シタ金ガ確實ニ廻リ、而モ其加入シタ地
方ニソレガ還元サレルト云フコトデ、僅カ簡易保険事業ヲ始メテ以來、約十箇
年デアリマスケレドモ、既ニ其加入者ガ六百萬ヲ越エ、掛金約八億ニ垂ント
スルト云フコトハ、結局、保險事業ト此積立金ノ運用トヲ不可分ノモノト致シ
マシテ、今日マデ加入者ニ十分ノ了解ヲ求メ資金ノ還元ヲ致シテ參ツタコト
ガ、此成績ヲ擧ゲテ居ル理由デ、若シ之ヲ別個ノ運用ニ致シマスレバ、唯今

馬場サンノ御話ノ如ク、保險事業ノ根本ヲ破壊スル虞レナシトモ云ハレナイ
ヤウナ風ニ考ヘテ居リマス、又此保險金ニ付キマシテハ、唯今デハ多年之ヲ
掛ケテ參リマシタ者ニ對シテハ還付スル所ノ方法モ採ツテ居リマス、又疾病
ノ問題ニ付テモ唯今考慮イタシテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ理由ヲ考ヘ
マスト云フト、積立金ト預金部ノ金トハ、同ジク郵便局デ取扱ツテ居リマスケ
レドモ、金ノ性質ガ根本ニ于テ違フ、其又金ヲ出ス人ノ目的モ違フ、事業其
モノノ性質モ違フ、運用モ違フ、從テ此運用ニ付キマシテハ特ニ保險事業ニ
經驗ノアル者ヲ集メマシテ、官民共ニ此運用ニ對シテハ遺漏ナキ所ノ機關ヲ
作ツテ、今日運用イタシテ居ルヤウナ場合デゴザイマスカラ、貴族院ノ委員會
ニ於ケル御說モゴザイマシタガ、隨分、此問題ハ考慮イタサナケレバナラナイ
問題デアルト思ヒマス、保險事業ノ性質カラ云ヘバ、之ヲ殆ド不可分ノモノト
シテ、ドウシテモ保險事業ヲ取扱ツテ行ク者ガ之ヲ運用シナケレバナラナイ、
而モ之ヲ還元ノ主義ニ依ッテヤラナケレバナラヌ、之ヲ運用スルニハ其道ニ
経験ノアル者ガヤラナケレバナラヌト、斯様ニ考ヘ……主管局トシテハ考ヘ
テ居リマスケレドモ、御意見モアリマシタコトデアリマスカラ、大藏大臣ノ
聲明イタシマシタ通り、將來ニ付テハ政府トシテハ考慮ハ致サウト思ヒマス、
斯様ナ立場ダケノコトヲ申上グテ御了解ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、
○議長(公爵德川家達君) 三案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセ
スカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開ラカレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開クト云フ西大路子爵ノ
動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ
ザイマセスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、曾我子爵ノ登壇ヲ望ミマス
遠洋漁業獎勵法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十五日

右特別委員長

子爵 曾 我 祐 邦

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐邦君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐邦君 唯今、上程ニナリマシタ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及其結果ヲ御報告申上げマス、本案ニ付キマシテハ、二回ノ委員會ヲ開キマシテ、政府當局ノ説明ヲ求メマシタ、其説明ニ依リマスルト、立法ノ趣旨ト申シマスモノハ、現今ノ遠洋漁業獎勵法ニ依リマスルト、主トシテ頓數六十噸以下ノ船ヲ獎勵シ、其漁業ヲ獎勵シテ居ッタノデゴザイマス、然ルニ此生産増進ヲ圖リマス爲ニ、更ニヨリ以上ノ遠クノ海ニ出漁スルコトノ必要ヲ認メ、又未開ノ漁場ヲ開拓スルコトノ必要ニ迫ラレマシテ、今度ノ法律案ハ六十噸以上ノ船ノ建造ト及ビ其漁業ヲ獎勵シヤウト云フ案デゴザイマス、唯今マデハ遠洋漁業ノ狀態ハ南ノ方ハ小笠原島附近ガ極點デゴザイマシタガ、今後ハ此法律案ガ實際ニ、獎勵案ガ實施サレマシタ後ニ於テ

ハ、ソレヨリ尙ホ南ノ南洋廳カラ南支那海、又更ニ進ンデ「トンキン」灣ノ方ヘマデ進マウト云フノデゴザイマス、而シテ北ノ方ニ於テハ「ベーリング」海峽、又「オホツク」海附近マデ行カウト云フノデゴザイマス、本案ノ内容ハ條文ノ關係ノ詳細ナル煩ヲ省キマシテ、大體ヲ申シマスルト、同法ノ第三條ノ但書ヲ削除イタシマシテ、同ジク第五條ヲ改正シ、第六條ノ第一項ヲ削除シ、第十一條ヲ改正シタノデゴザイマス、其他、二三字句ノ修正ニ止マテ居リマス、運用ノ方法ト致シマシテハ、此獎勵法ハ本來今後十八箇年ヲ期シマシテ、百艘ノ船ニ獎勵ヲシヤウト云フノデゴザイマス、大型ノ船ニ…而シテ十四年度ノ豫算ニ於テハ二百噸ノ船一隻、又百噸ノ船二隻ト云フコトノ豫算ニナツテ居リマス、委員會ニ於キマシテ政府委員ト質問應答ヲ重ネマシテ、其質問ノ二三ヲ申シマスルト、遠洋ノ定義如何、又長崎ニ居ル所ノ漁師ガ青森沖ヘ行ツテ漁ヲシタ際、是ハ遠洋漁業ト認ムルヤ否ヤト云フ御質問モゴザイマシタ、政府委員ノ説明ニ依リマスルト、此遠洋ノ定義ト云フコトハ、距離ニ於テハ全ク今日ハ定マツテ居リマセヌ、單ニ捕リマスル所ノ魚ノ種類、即チ大洋ニアラザレバ捕リ能ハザル所ノ鰹トカ、サウ云フ種類ノモノニ依ツテ遠洋漁業ト云フコトノ定義ヲ與ヘテ居ルサウデゴザイマス、又質問ノ一ツニ海洋ノ地圖ハ如何ニナツテ居ル、即チ申ス迄モナク、溫度又ハ潮流關係ハ漁業ニ直接ノ關係ガ有ルコトハ、是ハ常識上、皆サンノ御存知ノコトデゴザイマスガ、此程度ハドウデアル、或ハ海底圖ト云フヤウナモノハ又魚ノ居場所ニ關係ガ有ルガ、是ハドウナツテ居ルト云フ御質問デゴザイマス、當局者ノ説明ニ依リマスルト、海洋圖ハ農商務省ノ方デ年々一艘二艘ノ船ヲ派遣シテ潮流、溫度其他海岸ノ移動ニ付テ調べテ居ルガ、海底ノ地圖、即チ海底圖ト云フヤウナモノハ、マダ十分ナ調査ガ出來ナイ、如何ニモ經費ノ關係ニ於テ、ソレハ爲シ能ハナイト云フ説明デゴザイマス、然ラバ海軍トノ關係ハドウデアルカ、海軍ハ…帝國海軍ハ潮流其他ノ事ニ付テ非常ニ大袈裟ナル研究ヲサレツ、アルコトハ當リ前デアルガ、此海軍ト密接ノ關係ヲ取ッテ、或ハ水產局ノ希望スル所ノ條件ヲ海軍省ニ頼ミ、又海軍省ガ情報ヲ水產局ニ致ス、斯ウ云フ風ニ相互ノ關係ヲ密接ニシテ、御互ニ利用シタナラバ非常ニ有益ナコトデハナイカ、而シテ現在ニ於テ其説明ニ依リマスルト、海軍省トノ關係ハ決シテ密接デナイト云フノデゴザイマス、サウシテ政府委員ハ將來ニ於テ決シテ密接デナイト云フノデゴザイマス、サウシテ政府委員ハ將來ニ於テ

ト云フ考デアルト云フコトデゴザイマス、其他無線電信若クハ船體ノ検査ニ付テノ御質問ガゴザイマシタ、無線電信ニ付テハ、斯ル遠洋ヲ航海スルモノハ或ハ突然大イナル魚ノ群ヲ發見シタト云フヤウナ場合ハ、無線電信デ聯絡スルコトガ必要デハナイカ、又人道ノ上カラ見テ、突然、颶風其他颶風ニ襲ハレタ時分ニ於テ、聯絡ヲ保ツコトガ必要デハナイカト云フ御質問デゴザイマス、此法案ニ依リマスルト、無線電信ハ必シモ強制的ニハナツテ居リマセヌガ、此獎勵金ヲ與ヘル際ニ、成ルベクスノ如キ完全ナルモノヲ獎勵スルト云フコトニナルカラ、從テ自然ト無線電信ノ如キハ必要ナ事ニナリハセヌカト云フ當局ノ説明デゴザイマス、ソレカラ討議ニ移リマシテ、全會一致、原案可決ト云フコトニナリマシタ、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リ、御異存ゴザイマセヌカシタカラ、御異議ガナケレバ一括シテ議題ト致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、明治三十二年法律第七十號中改正法律案、第八、明治四十一年法律第五十二號中改正法律案、第九、明治四十四年法律第五十一號中改正法律案、第十、大正十年法律第二十五號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長佐佐木侯爵ノ登壇ヲ望ミ

マス

明治三十二年法律第七十號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十四年二月二十八日

右特別委員長

侯爵 佐佐木行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十一年法律第五十二號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十八日

右特別委員長

侯爵 佐佐木行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十四年法律第五十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十八日

右特別委員長 侯爵 佐佐木行忠

貴族院議長公爵德川家達殿

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 子爵柳筍隆督君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

大正十年法律第二十五號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年二月二十八日

右特別委員長 侯爵 佐佐木行忠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 唯今、議題トナリマシタル特別委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、特別委員會ハ二回開會イタシマシタ、主モナル質問ハ領事裁判其モノニ關スルコトデアリマシテ、本案ニ付テノ質問ハ甚ダ少カツタノデアリマス、次イデ討論ニ這入リマシテ、領事裁判ノ現在ニ付テハ不十分デアルカラ、是ハ改善シテ貰ヒタイ、併ナガラ本案ニ付テハ其政府提出ノ理由ガ相當ト認メラレル、依テ本案ニ賛成デアルト云フ御意見ガアリマシテ、何等ノ異議ナクシテ可決セラレマシタ、此段御報告申上グマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、佐佐木特別委員長ノ報告セラレマシタ四案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

違警罪卽決例中左ノ通改正ス
第二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ言渡ヲ受ケタル者未成年者、禁治產者、準禁治產者又ハ妻ナルトキハ之ヲ其法定代理人、保佐人又ハ夫ニ通知スヘシ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ被告人ノ爲獨立シテ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

第七條ノ二 第九條又ハ第十條ノ規定ニ依リ留置セラレタル者ノ接見及ヒ信書ノ授受ニ關シテハ刑事訴訟法第百十一條及ヒ第百十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

附 則

本法ハ大正十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ裁判所構成法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、商業會議所法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

商業會議所法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正十四年二月二十六日

衆議院議長 索 谷 義 三

意見書案
木次三次間鐵道敷設ノ件

貴族院議長公爵徳川家達殿

島根縣飯石郡吉田村農田部長右衛門外百八十一名呈出

商業會議所法中左ノ通改正ス
第九條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 營業稅ヲ納ムル旅館業者

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サ

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳 川 家 達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

商業會議所法中改正法律案特別委員

侯爵 德川 圓順君 服部 一三君 子爵 松平 直平君

子爵 永井 尚敏君 男爵 北大路 實信君 男爵 黒川 幹太郎君

高橋 琢也君 桑原 善吉君 西川 甚五郎君

意見見書案
民間航空事業開發ニ關スル件

東京市麹町區有樂町帝國飛行協會副會長男爵阪谷芳郎呈出

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十三ヨリ第二十八マデ請願會議
意見書案

龍田郵便局ニ集配事務開始ノ件

滋賀縣神崎郡南五個莊村長中江勝治郎外一名呈出

右ノ請願ハ滋賀縣石塚郵便局區内龍田郵便局ハ從來無集配局ナルモ其ノ所在地ハ逐年繁榮ヲ來シ現ニ官公署並學校等ノ所在地ナルノミナラス郡ノ中

心ニシテ交通ノ要衝ナルニ反シ集配局タル石塚郵便局ハ却テ険隅ニ偏在シ
通信上住民ノ不便尠カラサルヲ以テ集配事務ヲ石塚郵便局ヨリ龍田郵便局
ニ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳 川 家 達

貴族院議長 公爵 德川家達
内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

東京市麹町區有樂町帝國飛行協會副會長男爵阪谷芳郎呈出
陸軍練兵場ヲ公開飛行場ト爲スノ件

右ノ請願ハ飛行場及不時著陸場ノ設備ハ航空事業發展ノ最大要件ナルニ拘ラス我國ノ民間航空界ヲ見ルニ是等ノ設備極メテ妙ク爲ニ萎靡不振ノ狀態ニ陷レルハ甚遺憾ナルヲ以テ之レカ獎勵上機宜ノ方法トシテ今次師團減少ニ依リ不用ニ歸スヘキ練兵場ヲ飛行場トシ汎ク民間航空業者ニ公開セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

寒河江樺岡間鐵道敷設ノ件

山形縣西村山郡谷地町長高橋内藏介外十名呈出

右ノ請願ハ山形縣西村山郡寒河江町ヨリ分岐シテ谷地町ヲ經テ北村山郡樺岡町ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル天然ノ豊富ナル利源ヲ開發スルモノ

ニシテ既ニ鐵道豫定線ナルニ拘ラス未タ開通セナルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

三重縣南牟婁郡木本町公吏加田利八外四百五十四名呈出

右ノ請願ハ紀勢鐵道ノ沿線地方ハ海陸無盡ノ富源ヲ包藏シ且史跡勝景多キニ拘ラス交通上唯一ノ機關タルヘキ該鐵道ハ東西兩端ヨリ起工シ未タ主要地點ニ達セス爲ニ既成部分ノ利用完カラス況同地方ハ夏秋ノ候颶風ノ爲海路杜塞シ往々ニシテ物資需給モ途絶スルコトアルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ紀勢鐵道ヲ完成セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

陸軍廠舍建設ニ關スル件

滋賀縣滋賀郡堅田町長北村又三郎外二名呈出

右ノ請願ハ滋賀縣高島郡舞庭野ニ於ケル陸軍各部隊ノ演習行軍ニ際シ其ノ往還途中休泊ノ便ニ供スル爲廠舍建設ノ要アルハ夙ニ當局ノ認ムル所ナルニ拘ラス未タ其ノ設置ナキハ遺憾ナルニ依リ之ヲ建設セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

紀勢鐵道速成ノ件

三重縣北牟婁郡尾鷲町林業土井八郎兵衛外二百五十七名呈出

右ノ請願ハ紀勢鐵道ハ國防上並產業上極メテ重要ニシテ殊ニ其ノ沿線地方ハ多年交通機關ノ不備ニ苦ミ其ノ開發ヲ阻礙セラレタルニ拘ラス該鐵道ノ工事一部竣工シタルノミニテ年度繰延ノ爲中止トナリタルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ本鐵道ヲ完成セシメラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

益田萩間鐵道速成ノ件

山口縣阿武郡田万崎村長福場邦二外二百七十二名呈出

右ノ請願ハ山陰鐵道幹線ノ一部ヲ成セル益田、萩間鐵道ハ沿線地方ノ產業ヲ開發シ交通連絡ニ資スルコト多大ニシテ益田小濱間ノ一部ハ既ニ開通シタルニ拘ラス殘部ノ小濱以西ハ未タ工事ニ著手セラレサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ該鐵道ノ完成ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

水產增殖法制定ニ關スル件

靜岡縣濱松市靜岡縣濱名水產會長佐藤喜代藏呈出

右ノ請願ハ水產業ヲ開發シ食料問題ノ解決ニ資スルハ四面環海ノ我國ニ在リテハ緊切ナルニ拘ラス未斯業ノ不振ナルハ遺憾ナルニ依リ速ニ水產増殖法ヲ制定セラレ同法中ニ種苗發生場又ハ養殖上緊要ナル水面ニハ確立保護ニ適當ナル制度ヲ設クルコト、水產ノ蕃殖上必要ナルモノノ採取除去若ハ有害物質ノ流出制限ヲ具體的ニ定ムルコト等其ノ他請願人所案ノ如キ要項ヲ設ケ以テ斯業獎勵ノ策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

有害物質ノ流出制限ヲ具體的ニ定ムルコト等其ノ他請願人所案ノ如キ要項ヲ設ケ以テ斯業獎勵ノ策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣子爵加藤高明殿

志布志外ノ浦港間鐵道敷設ノ件

右ノ請願ハ將ニ完成セラレムトスル都城志布志間鐵道ヲ延長シテ宮崎縣下福島ヲ經テ同縣下外ノ浦港ニ達セシムルハ南那珂郡ニ於ケル豐富ナル海陸

ノ利源ヲ開發シ且將來國家的重要港灣タルヘキ地位ヲ有スル同郡外ノ浦港ノ利用ヲ完カラシムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年月日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

大淀外ノ浦港間鐵道敷設ノ件

宮崎縣南那珂郡飫肥町長高山眞平外十五名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣宮崎郡大淀驛ヨリ南那珂郡飫肥町ヲ經テ同郡外ノ浦港ニ至ル一帶ノ地方ハ氣候溫暖ニシテ景勝ノ地多ク就中官幣大社鶴戸神宮ハ其

ノ中央ニ位シ四季參拜ノ客絶ユルコトナク且豊富ナル海陸ノ資源ヲ包藏スルノミナラス外ノ浦港ハ香港及南洋ニ通スル航路ニ最近接セル天與ノ良港ナルヲ以テ速ニ大淀外ノ浦港間ニ鐵道ヲ敷設シ同地方ノ開發ニ資セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年月日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

山口縣阿武郡嘉年村平民農栗田植太外千百三十五名呈出

右ノ請願ハ山口線德佐驛ヨリ未成線タル萩益田間鐵道中大井ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農產、林產及鑛產等ノ利源ヲ開發シ且交通上便益ヲ與フルコト至大ニシテ尙其ノ工事比較的容易ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年月日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣子爵加藤高明殿

意見書案

領石郵便局ニ電信事務開始ノ件

右ノ請願ハ高知縣領石郵信局ハ官公署等ノ所在地ニシテ近時戸口繁榮シ産業亦發展ヲ來シ從テ通信激増シタルニ拘ラス電信事務管轄郵便局ハ距離遠クシテ住民不便不利ナルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ領石局ニ電信事務ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十四年月日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣子爵加藤高明殿

○議長(公爵德川家達君)別ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通りデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君)御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君)次ノ議事日程ハ決定次第、御通知ニ及ビマス、本

日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時三分散會